

1 この科目の構成について

教 科	情 報	科 目	情報処理	単 位	3単位
対象コース	コース	対象クラス	2年6組		
使用教科書	情報の表現と管理(実教出版)				
使用副教材	全商ビジネス文書検定模擬問題集(実教出版) 日本情報処理検定試験模擬問題集(データベース) 自主教材(ネットワーク上にある指示ファイル)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
情報処理では、情報処理の専門的な知識と技能について、データベースソフトウェアを通してさらに理解を深めて下さい。また、情報発信の方法とその問題点について理解を深め、情報化が及ぼす影響について考えて下さい。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
(1)データベース①→ 表計算ソフトとデータベースソフトの違いについて学びます。 (2)データベース②→ 日検情報処理検定を題材として、データベースの理解を深めてもらいます。 (3)ビジネスプラン→ チームを組み、ビジネスプランを作成します。 (4)マルチメディア実習→ 音楽作成ソフトを使って、曲を作成します。 (5)	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
家庭にパソコンがないところもあるので、家庭での学習はなかなかできないと思います。聞く時間、作業する時間をわけて授業を行います。とにかく授業に集中してください。また、板書は大事な部分しか書きませんので、メモを取るように心がけましょう。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
(1)定期考査→第2回考査・第4回考査を行います。授業で行った内容から出題しますが、メディア基礎と合併での出題となります (2)授業中での課題→授業中に課題を提示します。(ファイルを提出、印刷して提出)	
評価における定期考査の割合	
30 %	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
(1) 関心・意欲・態度 課題や作業への取り組みが積極的であり、授業内容を進んで理解しようとしたかを見ます。課題の提出状況と内容も見ます。	
(2) 思考・判断 課題に対しどのソフトを使うか、どうやって行うかを見ます。また、トラブル時の対処方法について見ます。	
(3) 技能・表現 課題の意味を理解した内容をどのように表現していくかを見ます。	
(4) 知識・理解 小テスト、定期考査、課題の完成度、表現方法を見ます。	

5 この科目の学習計画について

年間学習計画		一この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか一	重視する評価の観点					
期	月	学習の項目	学習の内容		関	思	技	知
1	4	(1)データベース①	自主教材を用い、表計算ソフト(Excel)とデータベースソフト(Access)の違いについて学び、基礎操作を学びます。 ①表計算ソフトを用いたデータベースの特徴について学びます。 ②データベースソフトの特徴について学びます。 ③Accessの使い方について学びます。		●	●		●
	5							
	6	(2)データベース②	日検情報処理検定を題材として、データベースソフトについて理解を深めます。 過去問を使って何回も反復練習を行い、修得を図ります。		●	●		●
	7	第2回定期考査 テスト返却	今までの総復習をかねて、考査を行います。		●	●	●	●
2	8	(3)ビジネスプラン	ここまでの学習した知識を使い、ビジネスプランの作成を行います。					
	9	テーマ作成 講評会	・チーム(会社)単位で活動を行います。(1社あたり5~6人) ・情報収集を行い、ビジネスプランを作成します。 ・発表を行います。 ・ビジネスの意味を再確認し、どのような工夫が必要かを考えます。 ・ビジネスプランコンテストに優秀作品を応募します。		●	●	●	●
	10	(4)マルチメディア実習 音楽作成	音楽作成ソフト(てきとうシーケンサー)をもちい音楽作成を行います。 ・音楽ファイルの形式について学びます。ここではWEV形式で作成します。 ・楽譜の読み方を確認します。 ・楽譜を元に、課題1曲、自由課題2曲の作成を行います。 ・著作権の取り扱いについて再確認を行います。		●	●		●
		(6)コンピュータの仕組み①	コンピュータの基礎的な仕組みについて学びます。 ①ハードウェアに関する知識 ②ソフトウェアに関する知識 ③通信ネットワークに関する知識 ④情報モラルとセキュリティに関する知識 ⑤表計算ソフトに関する知識 ⑥データベースソフトウェアに関する知識		●			●
	(7)コンピュータの仕組み②	コンピュータの発展的な仕組みについて学びます。						
	11	定期考査	第4回考査					
	12	道徳教育 (8)情報モラル① 著作権	著作権が作られた経緯、著作権違反における罰則、他の人の意見を活用する「引用」について学びます。 様々な事例の小テストを行い、著作権についての知識を習得する。		●			●
		(9)情報の伝達 <プレゼンテーション> PowerPointの使い方	情報伝達の手法としてプレゼンテーションを学びます。これは大学や会社等で多く用いられる手法で、今後必要になると思われるからです。 PowerPointの使い方について学びます。 文字・絵の入れ方、オートシェイプの使い方、スライドの挿入方法、アニメーションの設定などを学びます。				●	●
	1	企画書作成	・2~3人で仮想会社を設立します。		●		●	●

3	<p>情報の検索・作成</p> <p>仮発表</p> <p>本発表</p>	<ul style="list-style-type: none"> 発表のテーマは自由とし、企画書の作成を行います。 ネットワーク上でファイルの提出を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 情報を検索し、データを保存します。 著作権侵害を防ぐために、引用の方法を学びます。 同時進行でスライドの作成を行っていきます。 <ul style="list-style-type: none"> 仮提出（60%の出来でよい）をします。 各社ごとに別室で仮発表を行い、改良した方が良い点を確認します。 発表後、より良いものにするために修正を行います。 <ul style="list-style-type: none"> 本発表を行います。持ち時間は2'30~3'30とします。 プレゼンテーションをするときに注意することを学習します。 発表時には、個人評価表を使って各社の評価を行います。 		●	●	●	●		●	●	●	●		●	●	●	●
---	---------------------------------------	---	--	---	---	---	---	--	---	---	---	---	--	---	---	---	---